

# 道徳学習指導案

佐伯町立佐伯中学校 村本 勝彦

## 1 学年 第1学年

### 2 主題名 「生命の尊厳さについて考える。」〔3 - (2) 生命尊重〕

関連項目 2 - (2) 人間愛

4 - (2) 遵法精神

4 - (6) 家族の一員としての自覚

3 ねらい かけがえのない生命が、多くの人によって支えられていることへの理解を深め、自他の生命を尊重していくためにはどうしていけばよいのか、についての道徳的判断力を養う。

4 資料 ビデオ「裕弥ちゃん1歳 輝け命」(NHK制作 プロジェクトX)

### 5 主題設定の理由

「命は1つしかない、かけがえのないものである。」ということを生徒は知識としては理解している。しかし、自分の命が家族や、周囲の人々の支えによって維持されていることまでは十分には認識していない。

そこで、「生命」の尊さを単なる知識としてではなく、心に刻みつけ、自他の生命を尊重していこうとする態度と実践力を培うことが大切になってくる。

本学級の生徒たちは、全体的に落ち着いて学校生活を送っているが、お互いを尊重していこうとする態度にまでは至っていない。

資料は、主人公の医師が、肝臓病を患い余命1ヶ月の赤ちゃんを救うために手術に踏み切るか、倫理委員会の決定を待つべきか、という選択を迫られている葛藤場面が含まれている。

授業の展開に当たっては、価値葛藤をしっかりと深めていくために小グループでの話し合いやドラマの活用をしていきたい。また、生徒の心をしっかりとゆさぶっていくためにティーム・ティーチングを行っていくことにした。また、少子化の中で赤ちゃんに接したことがないという生徒が学級の三分の二以上いるので、保護者の協力によりビデオ資料に登場する裕弥ちゃん(当時)と同じ年の赤ちゃんを授業の中に招いて、生徒が赤ちゃんに接することで考えを深めたり、心がゆさぶられるように工夫を試みた。

### 6 学習指導過程

〔第1次の目標〕主人公(永末医師)の葛藤状況を理解し、「どうすべきだったのか」の判断・理由付けをする。

T1 村本 T2 担任

段階	展開の視点と発問	生徒の活動と予想される反応	T1の支援の視点	T2の支援の視点
導 況	<p>1 心の耕し</p> <p>2 モラルジレンマ資料(ビデオ)の内容把握</p> <p>ビデオの中でわからなかった語句などはないか。</p>	<p>(1) 資料のビデオを視聴する。</p> <p>(2) 提示された資料の状況を共通理解する。</p> <p>&lt; 予想される答え &gt;</p> <p>・生体肝移植 ・心肺停止</p> <p>・倫理委員会 ・心不全・腎不全</p>	<p>一つ一つの質問を大切にしながらモラルジレンマに生徒を直面させ</p>	<p>ビデオを操作する。</p> <p>専門的な語句が多く出てくるが、倫理委員会については、特に討議を</p>

入	把握	登場人物は誰か。	<予想される答え> ・裕弥ちゃん・お母さん・お父さん ・おじいちゃん・おじさん ・木村医師・永末医師（主人公）	る。	主人公の葛藤状況を生徒全員が理解できるように支援する。	深めるためにしっかりと理解させる。				
		永末医師は何に迷っているのか。	<予想される答え> 裕弥ちゃんの手術をすべきか，規則を守るべきか。							
展	考	3 道徳的価値の類型化	(3) 各班ごとに，同じ意見の生徒同士で対話する。	生徒が自分の意見をしっかりと語れるように支援する。	それぞれの人数把握を行う。	生徒が自分の意見をしっかりと語れるように支援する。				
		あなたが永末医師だったらどうしますか。	(4) 第1次判断・理由付けを学習ノートにまとめ，自己見解をもつ。							
開	え	を	<予想される生徒の判断・理由付け> 賛成（規則を破っても手術をするべき。）	意図的指名を行いながら，判断・理由付けの整理を行う。	判断・理由付けを整理して板書し生徒全員に提示する。					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>判断・理由付け及び道徳性の発達段階</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・手術をしなければ，裕弥ちゃんの家族から責められる。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>・手術をすれば，裕弥ちゃんの家族から感謝される。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>・手術をすれば，勇気ある行為だとほめられるだろう。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>・命を助けるのは，医者として当然のことである。</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>			判断・理由付け及び道徳性の発達段階		・手術をしなければ，裕弥ちゃんの家族から責められる。	1	・手術をすれば，裕弥ちゃんの家族から感謝される。
判断・理由付け及び道徳性の発達段階										
・手術をしなければ，裕弥ちゃんの家族から責められる。	1									
・手術をすれば，裕弥ちゃんの家族から感謝される。	2									
・手術をすれば，勇気ある行為だとほめられるだろう。	3									
・命を助けるのは，医者として当然のことである。	3									
前	も	つ	反対（規則は破るべきではない。）	自分の思ったままを表現すればいいことを生徒に強調する。	ドラマの会話をしっかりと観察・記録する。					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>判断・理由付け及び道徳性の発達段階</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・大学の規則を破れば，周囲から責められる。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>・規則を破れば，大学をくびになるかもしれない。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>・家族にまで，迷惑をかけてしまう。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>・規則はやはり守らなくてはならない。</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>			判断・理由付け及び道徳性の発達段階		・大学の規則を破れば，周囲から責められる。	1	・規則を破れば，大学をくびになるかもしれない。
判断・理由付け及び道徳性の発達段階										
・大学の規則を破れば，周囲から責められる。	1									
・規則を破れば，大学をくびになるかもしれない。	2									
・家族にまで，迷惑をかけてしまう。	3									
・規則はやはり守らなくてはならない。	3									
段			(5) 同じ意見の者同士でドラマを演じる。 ・ジレンマの仮の解決案を表現する。 ・即興的に表現する。 ・登場人物 永末医師，裕弥ちゃんの家族，その他							

論点を明らかにするための分析（第1次判断・理由付け，ドラマをもとに） - 予想される論点

論点1 このまま手術しなかったら裕也ちゃんはどうなってしまうのか。

論点2 もし，規則が破られることが頻繁に起こっていくとどんな社会になっていくのか。

〔第2次の目標〕いろいろな登場人物に役割取得することで，「どうすることが一番よかったのか」の最終判断をする。

T1 村本 T2担任 T3保護者

段階	展開の視点と発問	生徒の活動と予想される反応	T1の支援の視点	T2,3の支援の視点													
展 考	誰が何に悩んでいたのか。		永末医師のジレンマの状況を再確認する														
	4 T3と赤ちゃんに登場してもらおう。	(6) 生徒一人一人が，赤ちゃんを抱っこして，「命」を実感する。	赤ちゃんの温かさ・弱々しさ・命の尊さなどを生徒が実感できるように言葉かけをしていく。	赤ちゃんの温かさ・弱々しさ・命の尊さなどを生徒が実感できるように言葉かけをしていく。(T2)													
開 を	5 モラルジレンマ ディスカッション	(7) 永末医師のとるべき行動についてクラスで話し合う。															
	永末医師はどうすべきだったのだろうか。			T2, T3は，意見の強い側をゆさぶり，弱い側に味方するように考えを述べる。													
深 め	6 価値の一般化 第2次判断・理由付けとドラマ																
		<p>&lt;予想される生徒の判断・理由付け&gt; 賛成（規則を破っても手術をするべき。）</p> <table border="1"> <tr> <td>判断・理由付け及び道德性の発達段階</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・裕弥ちゃんの家族のためにも，医師としては手術をするべき。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>・医師として命を救うのは，当然のことだと思う。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>・命は，規則よりも大切なものだと思う。</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>反対（規則は破るべきではない。）</p> <table border="1"> <tr> <td>判断・理由付け及び道德性の発達段階</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・規則が破られていけば，みんなが自分勝手なことをする世の中になってしまう。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>・規則がなぜあるのか，ということを考えなくてはいけないと思う。</td> <td>4</td> </tr> </table>	判断・理由付け及び道德性の発達段階		・裕弥ちゃんの家族のためにも，医師としては手術をするべき。	3	・医師として命を救うのは，当然のことだと思う。	3	・命は，規則よりも大切なものだと思う。	4	判断・理由付け及び道德性の発達段階		・規則が破られていけば，みんなが自分勝手なことをする世の中になってしまう。	4	・規則がなぜあるのか，ということを考えなくてはいけないと思う。	4	
判断・理由付け及び道德性の発達段階																	
・裕弥ちゃんの家族のためにも，医師としては手術をするべき。	3																
・医師として命を救うのは，当然のことだと思う。	3																
・命は，規則よりも大切なものだと思う。	4																
判断・理由付け及び道德性の発達段階																	
・規則が破られていけば，みんなが自分勝手なことをする世の中になってしまう。	4																
・規則がなぜあるのか，ということを考えなくてはいけないと思う。	4																
後 め る 段																	

			( 8 ) 永末医師はどうすべきか，について同じ考えの者同士でドラマを演じる。	第 1 次同様，自分の思ったままを表現すればいいことを生徒に強調する。	ドラマの会話をしっかり観察・記録する。( T 2 )
終 末	ま と め	7 最終判断・理由付け	( 9 ) 学習ノートに各自が，最終判断と，その理由付けをまとめる。	一人一人の生徒の考えがしっかりと深まるように十分時間を確保する。	